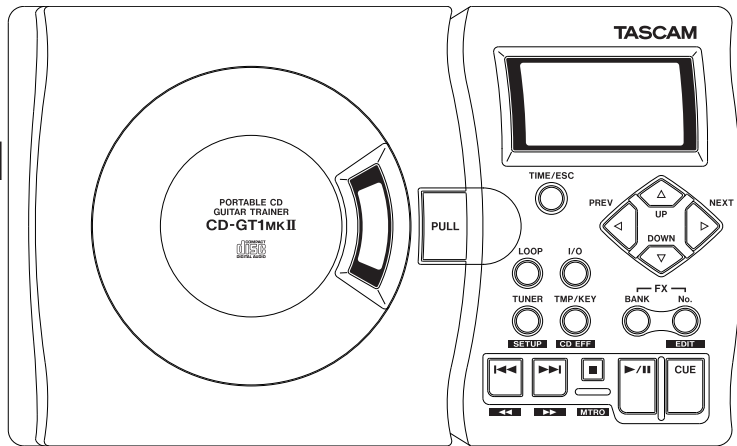


D00850900A

TASCAM
TEAC Professional Division

CD-GT1MKII

Portable CD Guitar Trainer



目次



安全にお使いいただくために	2	CDエフェクトの使い方	17
はじめに	5	内蔵エフェクターの使い方	18
電源について	6	エフェクターのプリセット一覧	19
各部の名称と機能	8	メトロノームの使い方	20
接続	11	チューナーの使い方	21
メニュー	13	各種設定の方法	22
CDプレイヤーの使い方	15	仕様	23
CD (曲) のピッチ/テンポを変更する	16		

取扱説明書




安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





絵文字の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⊘の中に具体的な禁止内容（左⊘の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ⊙の中に具体的な指示内容（左⊙の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告




	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


警告

	<p>電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社修理センターにご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために


⚠注意

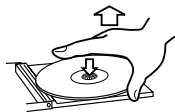
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所・ 湿気やほこりの多い場所・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

このたびは、TASCAM CD-GT1MKIIをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。

-  マークのある CD (12cm/8cm)
- 正しい方法でファイナライズされた CD-R および CD-RW
注意：ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ディスクは必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



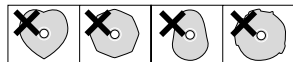
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因になりますので、いつもきれいに掃除して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペン

をお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生できなくなる場合があります。

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形などの特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

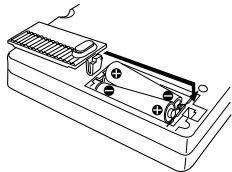


- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクメーカーにお問合せください。

電源について

電池での駆動

本体裏側の電池ケースを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて、ニッケル水素電池単3型（別売り）4本を入れてください。アルカリ乾電池単3型の使用も可能です。これら以外のタイプの電池では正常に動作しません。



電池についての注意

⚠ 警告

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池で使用する場合は、ACアダプターを外してください。
- 電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。

- 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電電池以外の電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を水や火の中に入れたり、分解したりしないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

電池残量表示

電池での駆動時に、ディスプレイ上の電池マークで、おおよその残量を表示します。

3つ点灯 

電池の残量は十分にあります。

2つ点灯 

電池の残量が半分位になっています。

1つ点灯 

電池の残量が残り少なくなっています。

3つ点滅 

まもなく電池切れです。新しい電池と交換してください。

電池寿命

- ニッケル水素電池約 4.5 時間
- アルカリ乾電池約 1.5 時間

ご注意

- 本製品は一般のポータブルCDプレイヤーに比べ、KEY設定やエフェクターなど、特殊な機能が備わっているため、電池寿命が短くなっています。
- 電池寿命は、本機の動作条件（周囲の温度、湿度、各種特殊機能のオン/オフなど）によって変わります。
- 使用環境によっては、電池マークの残量が多いにもかかわらず、正常に動作しないことがあります。この場合は、電池を交換しておいでください。またはACアダプターを使用してください。
- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

AC アダプターでの駆動

AC アダプターは TASCAM PS-PS5 (別売) をご使用ください。他のアダプターは使わないでください。故障の原因になります。

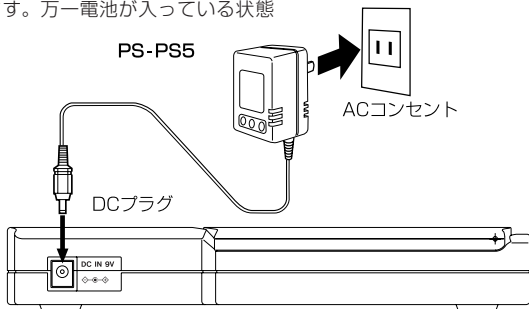
AC アダプターの DC プラグを本機の DC IN につなぎ、AC プラグを家庭用電源コンセント (AC100 V) に差し込んでください。

ご注意

- AC アダプターで使用するときには、電池を取り出してお使いください。電池が入っている状態で AC アダプターを使用すると、ごく稀に小さなノイズを発生することがあります。万一電池が入っている状態

で、AC アダプターを使ってしまった場合は、電源スイッチで一度電源を切ってから、電池での使用に切り換えてください。電池での使用から AC アダプターでの使用に切り換えるときも、同様に、一度電源スイッチで電源を切ってください。

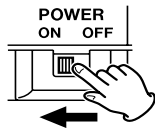
- 使用しない場合には、AC アダプターをコンセントから抜くようにしてください。
- ディスク読み込み直後および各設定を変更した直後に本機の電源を OFF にすると、バックアップが正常に行われぬ場合があります。



この場合は、システムが正常に起動できなくなることがあります。正常にバックアップが行われなかった場合は、各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

電源を入れる

本体の電源をオン/オフするには、本体横の POWER スイッチを操作します。



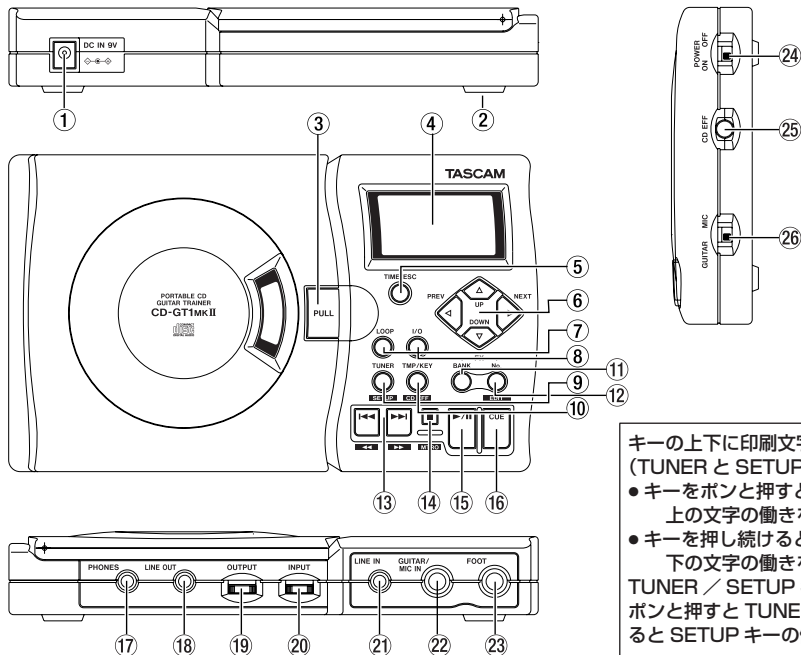
オートパワーセーブ

以下の状態が 5 分以上続くと、本機の CD 部分の電源が自動的に切れます (電池使用時)。ディスプレイの CD 部分は CD OFF になります。

- ・ストップ
- ・CD ドライブカバーが開いている状態
- ・ディスクを挿入していない状態

再度オンにするには、PLAY キーを押します。

各部の名称と機能



キーの上下に印刷文字があるキー

(TUNER と SETUP など) は

- キーをポンと押すと：

上の文字の働きをします。

- キーを押し続けると：

下の文字の働きをします。

TUNER / SETUP キーの場合は、
ポンと押すと TUNER キーの働きに、押し続けると SETUP キーの働きになります。

① DC IN 端子

AC アダプター (別売りの TASCAM PS-PS5) の DC プラグをこの端子に差し込みます。

② 電池ボックス

本体裏側の電池ケースを外し、単 3 型電池 4 本をセットします。

③ CD ドライブ部カバー

ディスク装着時等は、ロック解除レバーを引いてカバーを持ち上げます。

④ ディスプレイ

このディスプレイ上に本機の状態を表示します。

⑤ TIME/ESC キー

- ホーム画面でこのキーを押すと、ディスプレイ内の時間表示が換わります。
- メニューモードでの設定時にこのキーを押すと、各設定モードを抜けホーム画面に戻ります。

⑥ PREV, NEXT, UP, DOWN キー

メニューモードでの設定時にメニュー項目を選択したり、設定値を変更するときに使用します [→ 13 ページ]。これらのキーのホーム画面での機能を設

定することもできます。[→ 22 ページ]

⑦ LOOP キー

このキーを押すと、リピート (ループ) モードに入り、ディスプレイ上の LOOP が点灯します。もう一度押すと、リピードモードは解除されます。

⑧ I/O キー

ある特定の部分をリピート再生させるときの「IN 点」と「OUT 点」を設定します [→ 15 ページ]。

⑨ TUNER / SETUP キー

このキーを押すと、TUNER メニューや SETUP メニューに入ります [→ 13 ページ]。

⑩ TMP/KEY / CD EFF キー

このキーを押すと、TEMPO / KEY メニューや CD エフェクトメニューに入ります [→ 14 ページ]。

⑪ BANK キー

エフェクトバンク (A/B) を切り換えます [→ 18 ページ]。

⑫ No. / EDIT キー

エフェクトスロットを順送りします。[→ 18 ページ] また、このキーを押

し続けると EFFECT メニューに入ります [→ 13 ページ]。

⑬トラックスキップ/サーチキー [◀◀/|◀▶▶/▶▶]

トラックスキップ:

前または後ろの曲にスキップします。

- CD 再生中にこのキーを押すと、前の曲または次の曲にスキップします。
- 停止状態からこのキーを押すと、演奏を開始する曲を選択できます。(再生を始めるには、PLAY キーを押してください。)

サーチ: 早送り/早戻しします。

- CD 再生中にこのキーを押し続けると、早送り/早戻しができます。
- キーをさらに押し続けると進む度合いが段々大きくなります。

⑭ STOP / MTRO キー [■]

CD 再生を停止します。また、このキーを押し続けるとメトロノームメニューに入ります [→ 20 ページ]。

各部の名称と機能

⑮ PLAY / PAUSE キー [▶/⏸]

CD 再生を始めます。
再生中に押すと、一時停止します。
もう一度押すと再生を再開します。

⑯ CUE (キュー) キー

CUE ポイント (最後に再生を開始したポイント) に戻ります。CUE のモードには 2 つのタイプがあり、**SETUP** メニューの [CUE] 設定により、CUE キーを押したときの動作が異なります。[→ 22 ページ]

⑰ PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

⑱ LINE OUT 端子

アンプ内蔵スピーカーやステレオシステムの AUX 入力、カセットデッキ、CD レコーダーなどに接続するときに使用します。
エフェクトやキーコントロール処理された音が出力されます。

⑲ OUTPUT ダイアル

PHONES 端子と LINE OUT 端子の出力音量を調整します。
このダイアルは PHONES 端子と LINE OUT 端子の音量を同時に調整します。個別には調整できません。

⑳ INPUT ダイアル

GUITAR/MIC IN の入力音量を調整します。

㉑ LINE IN 端子

外部機器 (シンセサイザー、ギタープリアンプ、カセットデッキやラックマウントエフェクターなど) を接続します。
この端子にはレベルコントロールがありませんので、それぞれのソース側で出力レベルを調整します。

㉒ GUITAR/MIC IN 端子

ギターやダイナミックマイクを接続します。入りに合わせて、GUITAR/MIC スイッチ ㉖ を切り換えます。

㉓ FOOT 端子

フットスイッチを接続します。フットスイッチには、さまざまな機能を割り当てることができます。機能の切り換えは **SETUP** メニューの [FOOT] で行います [→ 22 ページ]。

㉔ POWER スイッチ

本機全体の電源をオン/オフします。

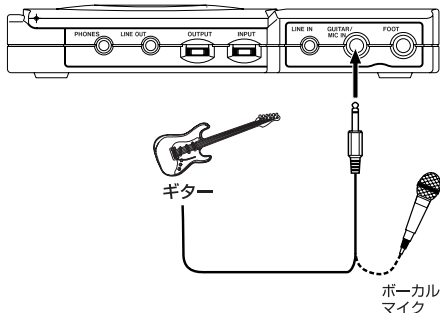
㉕ CD EFF スイッチ

CD エフェクト (ギターキャンセラーなど) をオン/オフします。

㉖ GUITAR / MIC スイッチ

各入りに合わせて、GUITAR/MIC IN 端子のゲインを切り換えます。

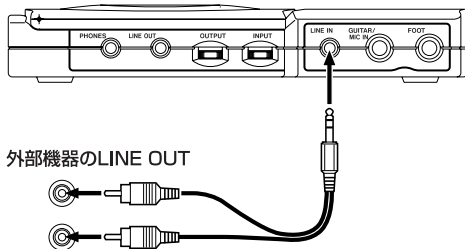
ギターやマイクの接続 (GUITAR / MIC IN) 外部機器からの信号を入力する



- ギターやマイクを GUITAR/ MIC IN に接続します。
- ギター接続時は、本体横の GUITAR / MIC スイッチを GUITAR 側に設定します。
- マイク接続時は、本体横の GUITAR / MIC スイッチを MIC 側に設定します。
- 本機の GUITAR/MIC IN は不平衡 (アンバランス) 方式です。ケーブルは、6.3 φ 単極ホンプラグタイプのものでご使用ください。

入力レベルを調整する

GUITAR/MIC IN の入力音量は、INPUT ダイヤルで調整します。



- LINE IN 端子はステレオミニジャックです。
- LINE IN 端子の入力音量は調整できませんので、外部機器側で出力音量を調整してください。

ご注意

GUITAR/MIC IN 端子にギターアンプを接続しないでください。故障の原因になります。

内蔵エフェクターを通った後の出力レベルを調整する

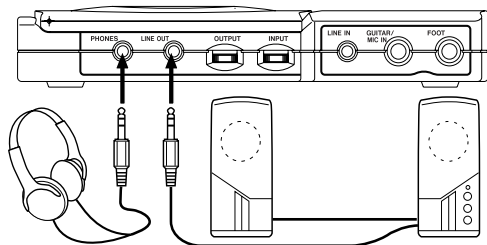
FX No. キーを押して続けて **EFFECT** メニューを開き、[LVL] を選んで値を設定します。設定できる範囲は 0 ~ 64 です。

ギター/マイク音声と CD 音声のミックスバランスを調整する

TUNER / SETUP キーを押して続けて **SETUP** メニューを開き、[MIX] を選んで値を設定します。

設定できる範囲は G (Guitar) 10 ~ 1, 0, C (CD) 1 ~ C10 です。

ヘッドホン／外部機器への接続



- ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に接続して使用します。
- 本機の LINE OUT 端子にアンプ内蔵スピーカーやステレオシステムの AUX 入力、カセットデッキ、CD レコーダーなどを接続できます。

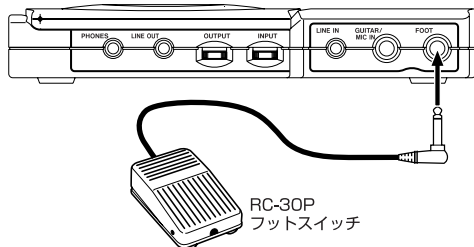
出力レベルを調整する

LINE OUT と PHONES の出力レベルは、OUTPUT ダイヤルで調整できます。

ご注意

- OUTPUT ダイヤルは LINE OUT と PHONES の出力を兼ねています。個別には調整できません。
- LINE OUT 端子に録音機器などを接続している場合、OUTPUT ダイヤルを操作することにより、レベルが変わりますのでご注意ください。

フットスイッチの接続



- フットスイッチのプラグを FOOT 端子に接続して使用します。フットスイッチの極性は、**SETUP** メニューの [POL] で変更できます。

ご注意

- FOOT 端子にはプラグが 2 極のフットスイッチ (TASCAM RC-30P など) を接続してください。それ以外の物を使用すると、正しく動作しないことがあります。





メニューを開く

各メニューに対応するキーを押して、希望するメニューを開きます。

- **EFFECT** メニュー
→ FX No. キーを押し続ける
- **TUNER** メニュー
→ TUNER / SETUP キーをポンと押す
- **SETUP** メニュー
→ TUNER / SETUP キーを押し続ける
- **TEMPO** **KEY** メニュー
→ TMP/KEY / CD EFF キーをポンと押す
- **CD EFF** メニュー
→ TMP/KEY / CD EFF キーを押し続ける
- **[メトロノーム]** メニュー
→ STOP キーを押し続ける



選択されたメニュー（メニューカテゴリ）が反転点滅し、メニュー項目が表示されます。

メニュー カテゴリ	メニュー 項目	設定値	内容	
	EFFECT	EFF	ON/OFF	エフェクトのオン/オフ (→p18)
	LIB	d01 ~ 15, o01 ~ 15, c01 ~ c15, v01 ~ 12		プリセット番号の設定 (→p18)
	Parameter	-		エフェクトの種類によって変化
	LVL	0 ~ 64		エフェクト出力レベルの設定 (→p18)
	TUNER	TUNE	MODE=GTR: 6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E	チューナー動作 Guitarモードで動作時は弦番号を設定可能 (→p21)
	MODE	CHR/GTR		チューナー動作モードの選択 (→p21)
	OSC	(OFF), _C~_A, _B, C~B, ~C~B (3 octaves)		オシレーター出力音程を設定 (→p21)
	CAL	435 ~ 440 ~ 445		基準周波数 (A4、単位: Hz) の設定 (→p21)
	SETUP	MIX	G10 ~ G1, 0, C1 ~ C10	
	PLAY	ALL/SGL		全曲プレイ / 1曲プレイの選択 (→p22)
	CUE	CUE/FLS		CUEキーの動作を選択 (→p22)
	UPDN	MIX, TMP, KEY, FIN		ホーム画面でのUP/DOWNキーの機能設定 (→p22)
	FOOT	FX+, FX-, CUE, FLS, REW, FF, BNK		フットスイッチの機能設定 (→p22)
	POL	NOR/INV		フットスイッチの極性設定 (→p22)

メニュー カテゴリー	メニュー 項目	設定値	内容
TEMPO KEY 	TMP	VSA=OFF: -50 ~ +16 VSA=ON: -50, -32, -16, -12, -8, -4, <u>0</u> , +4, +8, +12, +16	CD再生テンポの設定 (単位: %) (→p16)
	VSA	<u>ON</u> /OFF	VSAのオン/オフ (→p16)
	KEY	b6 ~ <u>0</u> ~ #6	キーコントロールの設定 (半音) (→p16)
	FINE	-50 ~ <u>0</u> ~ +50	ファインチューニングの設定 (cent) (→p16)
CD EFF 	CNCL	<u>ON</u> /OFF	ギターキャンセルのオン/オフ (→p17)
	PART	L10 ~ 1, <u>C</u> , R1 ~ 10	ギターキャンセルが削減する 定位を設定 (→p17)
	RNGE	<u>MID</u> /ALL	ギターキャンセルが削減する 音域を設定 (→p17)
	MONO	<u>OFF</u> (stereo), L+R, L, R	モノモニターの方式を選択 (→p17)
	SPLT	<u>OFF</u> (mix), C-G, G-C	スプリットモニターの方式を選択 (→p17)
メトロノーム   MTRO	MTRO	(OFF), 40 ~ <u>120</u> ~ 220	メトロノームのテンポ設定 (→p20)
	BEAT	<u>OFF</u> , 2 ~ 6	メトロノームの拍子設定 (→p20)

設定値の下線は、初期設定を表します。

メニュー項目の選択

PREV/NEXT キー   を
押すと、メニューカテゴリー
内のメニュー項目を選択できま
す。

設定値の変更

UP/DOWN キー   を押すと、
各メニュー項目の設定値を変更
できます。

メニューをめぐる

TIME/ESC キー  を押しま
す。メニューモードを抜け、ホー
ム画面に戻ります。

本機は普通のCDプレイヤーとほとんど同様に使うことができます。このセクションでは、普通のCDプレイヤーとの違いや本機の特長を説明します。

再生

▶/■キーで再生を開始／一時停止します。

■キーで停止します。

スキップ／サーチ

◀◀/◀ または ▶▶/▶ キーを押すと、前後のトラックにスキップできます。また、それぞれのキーを押し続けると、サーチができます。

リピート（ループ）

LOOPキーを押すと、**SETUP**メニューの[PLAY]設定に従ったリピート再生が行えます。

設定値	リピートモード
SGL	1曲（現在の曲） リピート（LOOP1点灯）
ALL	全曲リピート （LOOP点灯）

リピートを解除するには、LOOPキーをもう一度押します。

区間リピート

ある特定の部分をリピート再生させる

には、I/Oキーを押して、「IN点」と「OUT点」を設定し、その区間をリピート再生します。

- CD再生／一時停止中にI/Oキーを押すと、「IN点」が設定され、ディスプレイ上のI/Oが点滅を始めて、
- CD再生中にもう一度キーを押すと、「OUT点」が設定され、「IN点」に戻って2点間をつなぎ目なくリピート再生します。このときディスプレイ上のLOOPとI/Oが点灯します。
- 区間リピートを解除するには、LOOPキーを押します。LOOPが消えて、リピートモードが解除されます。（もう一度LOOPキーを押せば区間リピートが始まります。）
- 設定を解除するには、「OUT点」が設定されている状態から、もう一度I/Oキーを押します。

CUEキー

このキーを押すと、**SETUP**メニューの[CUE]設定に従った動作をします。

設定値	動作
CUE	最後に再生を開始したポイントで一時停止します。
FLS	最後に再生を開始したポイントから自動的に再生を始めます。

- フットスイッチ（TASCAM RC-30Pなど）を使えば、CUEキーの代りにペダルが使えますので、ハンズフリーで操作ができます。なお、この場合は**SETUP**メニューの[FOOT]をCUEまたはFLS（FLASH）にしておいてください。

ディスプレイ

TIME/ESCを押すと、トラック経過時間→トラック残り時間→合計残り時間→の順に時間表示を切り換えることができます。

CD (曲) のピッチ／テンポを変更する

本機のCD再生を変える設定は以下の4つです。**TEMPO** **KEY** メニューの各項目でそれぞれを設定します。

1. テンポコントロール ([TMP])
2. VSA 設定 ([VSA])
3. キーコントロール ([KEY])
4. ファインチューニング ([FINE])

テンポコントロール

テンポコントロールは、曲のテンポを変えます。

TMP/KEY / CD EFF キーをポンと押して **TEMPO** **KEY** メニューを開き、[TMP] を選んで値を設定します。

値は、[VSA] 設定が ON の時は -50, -32, -16, -12, -8, -4, 0 (オフ), +4, +8, +12, +16% から選択できます。

[VSA] 設定が OFF の時は、-50 ~ +16% の範囲で 1% 刻みで選択できます。

設定値が 0 以外のときはディスプレイの **TEMPO** が点灯します。

VSA

VSA (Variable Speed Audition) が ON のときは、曲のキーを保ったまま、テンポだけを変えることができます。

TMP/KEY / CD EFF キーをポンと

押して **TEMPO** **KEY** メニューを開き、[VSA] を選んで ON か OFF を設定します。

設定が ON の時、ディスプレイの *VSA* が点灯します。

ご注意

テンポコントロール値が 0 以外で、[VSA] を OFF から ON にした場合は、設定値が自動調整されます。たとえば、VSA OFF 時の設定が 33 のとき VSA を ON にすると、値が自動調整され -50 になります。

キーコントロール

キーコントロールは、曲のキーを半音単位で変えます。

TMP/KEY / CD EFF キーをポンと押して **TEMPO** **KEY** メニューを開き、[KEY] を選んで値を設定します。

範囲は ±6 半音 (b6 ~ 0 (オフ) ~ #6) です。

この設定が ON のときは、ディスプレイの **KEY** が点灯します。

ファインチューニング

ファインチューニングは、曲のキーを cent (100 cent = 半音) 単位で変えます。

楽器と曲の微妙なキーのずれを調整できます。

TMP/KEY / CD EFF キーをポンと押して **TEMPO** **KEY** メニューを開き、[FINE] を選んで値を設定します。

範囲は ±50 cent (-50 ~ 0 (オフ) ~ +50) です。

ただし、キーコントロールが #6 のときは、ファインチューニングの範囲が -50 ~ 0 になり、キーコントロールが b6 のときは、ファインチューニングの範囲が 0 ~ +50 になります。この設定が ON のときは、ディスプレイの **KEY** が点灯します。

ご注意

- ファインチューニングの設定が +1 ~ +50 のときキーコントロールを #6 に設定すると、ファインチューニングが自動的に 0 になります。同様に、ファインチューニングが -50 ~ -1 のときに、キーコントロールを b6 にすると、ファインチューニングが自動的に 0 になります。
- キーコントロールや VSA を ON にしているとき、再生音が震えているように聴こえることがあります。これは、CD の再生音を特殊処理しているため発生するもので、故障ではありません。

CDエフェクトのオン/オフ

本機右横側面のCD EFFスイッチ ㊟を押して、CDエフェクトをオンにすると、CDエフェクトの設定（ギターキャンセラー／モノモニター／スプリットモニター）に応じて、CDエフェクトがかかります。ONにすると、ディスプレイの **CD EFF** が点灯します。もう一度押すとオフになります。

ギターキャンセラー

CD再生音の特定定位成分・音域を削減します。

オン/オフ

TMP/KEY / CD EFF キーを押して続けて **CD EFF** メニューを開き、[CNCL] を選んで、オン/オフを設定します。

削減定位の設定

TMP/KEY / CD EFF キーを押して続けて **CD EFF** メニューを開き、[PART] を選んで、削減したい定位を設定します。

値は、L10 ~ 1, C, R1 ~ 10の中から選択できます。

削除音域の設定

TMP/KEY / CD EFF キーを押して続けて **CD EFF** メニューを開き、[RNGE] を選んで、MID（中域）またはALL（全域）を選択します。

モノモニター

モニターの方式を設定します。

TMP/KEY / CD EFF キーを押して続けて **CD EFF** メニューを開き、PREV キーまたはNEXT キーで [MONO] を選んで、以下から値を選択します。

- L+R: L(左)信号とR(右)信号をミックスして出力します。
- L: L信号のみを出力します。
- R: R信号のみを出力します。
- OFF: ステレオ信号を出力します。

スプリットモニター

スプリットモニターの方式を設定します。

TMP/KEY / CD EFF キーを押して続けて **CD EFF** メニューを開き、[SPLT] を選んで、以下から値を選択します。

- C-G: 左からCD音声を、右からギター/マイク音声を出力します。
- G-C: 左からギター/マイク音声を、右からCD音声を出力します。
- OFF: CD音声とギター/マイク音声をミックスして出力します。

内蔵エフェクターの使い方

本機には2つのエフェクトバンク(A, B)があります。それぞれのバンクには1~5までのスロットがあります。また、57のプリセットエフェクト(ギター用45、ボーカル用12)が内蔵されています。

バンクスロットを選んでから、プリセットエフェクトを呼び出して編集すると、編集したエフェクトがそのバンクスロットに自動的に保存されます。

エフェクトの編集と保存


1. BANK キーを押して、バンク A または B を選びます。



2. No. キーを押してスロットを選択します。

3. FX No. キー を押し続けて **EFFECT** メニューを開きます。



4. PREV キーまたは NEXT キー  を押して、[EFF] を選択します。

5. UP キーまたは DOWN キー  を押して [EFF] を ON に切り換えます。

6. PREV キーまたは NEXT キーを押して、[LIB] (エフェクトプリセット) を選択します。

7. UP キーまたは DOWN キーを押して、プリセット番号 (d01 ~ v12) を選択します。

ご注意

選択したバンクスロットに、すでに編集したエフェクトデータがあった場合、プリセットエフェクトを呼び出したと同時に、既存のデータは呼び出したデータに上書きされます。

8. 以下同様の手順で、PREV キーまたは NEXT キーで編集したいパラメータを選択し、UP キーまたは DOWN キーで値を決定します。

9. 最後にエフェクトの出力レベル [LVL] を調整します。このレベル設定は、エフェクトがオンのときのみ有効です。オフのときはバイパスします。

10. TIME/ESC キー を押して、**EFFECT** メニューを抜けます。なお、ここで設定した各パラメータは、選択したバンクスロットに自動的に保存されます。

編集したエフェクトの呼び出し

BANK キーと No. キーを押して、呼び出すバンクスロットを選択します。

- フットスイッチ (TASCAM RC-30P など) を使えば、ペダルを踏むことでバンクスロットを切り換えることができます。なお、この場合は **SETUP** メニューの [FOOT] を、FX+ または FX- もしくは BNK にしておいてください。

エフェクターのプリセット一覧

ディストーション	オーバードライブ	クリーンサウンド	ボーカル
d01 DIST-TONE- FLA-REV	o01 DRIV-TONE- FLA-REV	c01 COMP-TONE- FLA-REV	v01 Chorister
d02 DIST-TONE- FLA-DLY	o02 DRIV-TONE- FLA-DLY	c02 COMP-TONE- FLA-DLY	v02 Emphasis
d03 DIST-TONE- PHA-REV	o03 DRIV-TONE- PHA-REV	c03 COMP-TONE- PHA-REV	v03 Shout
d04 DIST-TONE- PHA-DLY	o04 DRIV-TONE- PHA-DLY	c04 COMP-TONE- PHA-DLY	v04 Mood Vocal
d05 DIST-TONE- EXC-REV	o05 DRIV-TONE- EXC-REV	c05 COMP-TONE- EXC-REV	v05 Response
d06 DIST-TONE- EXC-DLY	o06 DRIV-TONE- EXC-DLY	c06 COMP-TONE- EXC-DLY	v06 Proclaim
d07 DIST-TONE- CHO-REV	o07 DRIV-TONE- CHO-REV	c07 COMP-TONE- CHO-REV	v07 Quivering Voice
d08 DIST-TONE- CHO-DLY	o08 DRIV-TONE- CHO-DLY	c08 COMP-TONE- CHO-DLY	v08 Duet
d09 DIST-TONE- TRM-REV	o09 DRIV-TONE- TRM-REV	c09 COMP-TONE- TRM-REV	v09 Lo-Fi Vocal
d10 DIST-TONE- TRM-DLY	o10 DRIV-TONE- TRM-DLY	c10 COMP-TONE- TRM-DLY	v10 Megaphone
d11 DIST-TONE- VIB-REV	o11 DRIV-TONE- VIB-REV	c11 COMP-TONE- VIB-REV	v11 Screaming
d12 DIST-TONE- VIB-DLY	o12 DRIV-TONE- VIB-DLY	c12 COMP-TONE- VIB-DLY	v12 Panning Vocal
d13 DIST-TONE- WAH-REV	o13 DRIV-TONE- WAH-REV	c13 COMP-TONE- WAH-REV	-
d14 DIST-TONE- WAH-DLY	o14 DRIV-TONE- WAH-DLY	c14 COMP-TONE- WAH-DLY	-
d15 DIST-TONE- PIT-DLY	o15 DRIV-TONE- PIT-DLY	c15 COMP-TONE- PIT-DLY	-

上のように、エフェクターのプリセットは大きく4つのカテゴリーに分けられます。

ギターのプリセット(ディストーション、オーバードライブとクリーン)は4つのコンポーネントから構成され、6つのパラメータを持っています。パラメータはそれぞれ別々に設定できます。

ボーカルのプリセットは設定できるパラメータがそれぞれひとつで、PARAMとして表示されます。

エフェクターのプリセット一覧／メトロノームの使い方

パラメータ

DIST	ディストーションのゲイン
DRIV	オーバードライブのゲイン
COMP	コンプレッサーのゲイン
TOINE	トーンコントロール
FLA	フランジャーの設定
REV	リバーブの設定
DLY	ディレイの設定
PHA	フェイザーの設定
EXC	エキサイターの設定
PIT	ピッチシフトの設定
CHO	コーラスの設定
TRM	トレモロの設定
VIB	ビブラートの設定
WAH	オートワウの設定

すべてのプリセットには出力レベル (LVL) 設定があります。設定範囲は 0～64 です。

太字項目 (FLA, REV, DLY など) は、MIX レベルを調整できます。

メトロノームの使い方



本機には、電子メトロノーム機能が内蔵されています。

メトロノーム機能を使うには、メトロノームメニューを開きます。

- STOP キーを押し続けてメトロノームメニューを開きます。



テンポを決める

1. PREV キーまたは NEXT キー  を押し、[MTRO] を選択します。
2. UP キーまたは DOWN キー 

を押してテンポを決めます。テンポは 1 拍 = 40～220(BPM = Beat per minute 値) の範囲で選択できます。

値を選択すると、メトロノーム音が出力されます。

メトロノームメニューを開いたときは、メトロノーム音がオフに

なっていますが、UP キーまたは DOWN キーを押すと、以前に設定した BPM 値でメトロノーム音が出力されます。

拍子を決める

1. PREV キーまたは NEXT キーを押し、[BEAT] を選択します。
2. UP キーまたは DOWN キーを押し、拍子 (2～6 または OFF) を決めます。

OFF 以外では、1 拍目の頭の音の音程が高く、また音量も大きく出力されます。

OFF の場合は、音程・音量とも全拍同じです。

ご注意

- メトロノーム機能は、CD 停止時のみ使用可能です。メトロノーム使用中に CD の再生を始めると、メトロノーム動作は自動的に解除されます。

本機の内蔵チューナーには以下の2つのモードがあります。

クロマチックモード (CHR) :

ギターなどの入力信号の音程を自動的に認識して表示します。



ギターモード (GTR) :



チューニングしたい弦を選んでから、チューニングを始めます。

モードを選択するには、

1. TUNER / SETUP キーをポンと押して **TUNER** メニューを開きます。



2. PREV キーまたは NEXT キー   を押して、[MODE] を選択します。

3. UP キーまたは DOWN キー   を押して GTR または CHR にします。

クロマチックモードの場合には、TUNE: ーが表示され、ギターをただ弾くだけで、最も近い音程がディスプレイに表示されます。

あらかじめ大まかにチューニングしておき、弦を弾きながらチューナー中央のドットが点灯するように、チューニングを行います。



ギターモードの場合は、TUNER メニューの [TUNE] で、合わせる弦の音程をあらかじめ設定しておいてから、ギターをチューニングします。

設定できる音程は、6E, 5A, 4D, 3G, 2B, 1E で、TUNE: XXのように表示されます。

オシレーターの使い方

C ~ B までの音 (サイン波) を 3 オクターブの範囲で出力することができます。この際の基準周波数は [CAL] の設定に従います。

オシレーターの音と楽器の音をミックスして聞くことができるので、チューニング時に便利です。

TUNER / SETUP キーをポンと押し

て **TUNER** メニューを開き、[OSC] (oscillator) を選んで、希望の音程を選択します。

キャリブレーション

通常 A4 = 440 Hz に設定しますが、この A4 (基準周波数) を 435Hz ~ 445Hz の範囲で自由に設定することができます。

TUNER / SETUP キーをポンと押して **TUNER** メニューを開き、[CAL] (calibration) を選んで値を選択します。値は、435 ~ 445 (Hz) の範囲で選択できます。

各種設定の方法

SETUP メニューを用いて、本機の細かな設定を行うことができます。

SETUP メニューを開くには、TUNER / SETUP キーを押し続けます。



PREV/NEXT キー   を押してメニュー項目を選び

UP/DOWN キー   を押して設定値を選択します。

ミックスバランス

ギター/マイク音声と CD 音声のミックスバランスを調整します。

SETUP メニューの [MIX] を選び、値を設定します。設定できる範囲は G (Guitar) 10 ~ 1, 0, C (CD) 1 ~ C10 です。

CD の再生モード

CD の再生モードを選択します。

SETUP メニューの [PLAY] を選び、

ALL (全曲再生モード) または SGL (1 曲再生モード) を設定します。

CUE キーの働き

CUE キーを押した時の動作を選択します。

SETUP メニューの [CUE] を選び、CUE または FLS (FLASH) を設定します。

CUE: 最後に再生を開始したポイントで一時停止します。

FLS: 最後に再生を開始したポイントから自動的に再生を始めます。

UP / DOWN キーの機能設定

ホーム画面での UP/DOWN キーの働きを選択します。ホーム画面で UP/DOWN キーを押すと、選択したメニューのパラメータが変化します。

SETUP メニューの [UPDN] を選び、以下から設定を選択します。

MIX: ミックスバランス
[→ 22 ページ]

TMP: CD の再生テンポ
[→ 16 ページ]

KEY: キーコントロール
[→ 16 ページ]

FIN: ファインチューニング
[→ 16 ページ]

フットスイッチの機能設定

フットスイッチを踏んだときの働きを選択します。

SETUP メニューの [FOOT] を選び、以下から設定を選択します。

BNK: エフェクトバンクの選択

FX+, FX-:

エフェクトスロットの選択

CUE, FLS: CUE 動作

[→ 15 ページ CUE キー]

REW, FF: CD の REW / FF

フットスイッチの極性設定

フットスイッチの極性 (ポラリティ) を、ご使用のフットスイッチに合わせて選択します。

SETUP メニューの [POL] を選び、NOR (NORMAL) または INV (INVERT) を設定します。

ディスクタイプ	8 cmシングルCD/ 12 cm CD
AD/DA	16ビット
デジタル信号処理	32ビット
規定出力レベル (LINE OUT)	-10 dBV
最大出力レベル (LINE OUT)	0 dBV (1V rms)
出力インピーダンス	1 k Ω
最大出力レベル (PHONES)	18 mW以上 (32 Ω 負荷)
規定入力レベル LINE IN MIC IN GUITAR IN	-10 dBV -40 dBV -15 dBV
CD再生特性	
周波数特性	20Hz to 20kHz \pm 1.0dB
ダイナミックレンジ	> 88dB
S/N比	> 88dB
THD	< 0.01%

電源	DC 9V (PS-PS5) 単3形電池（ニッケル水素電池または、アルカリ電池） \times 4
消費電力	4 W (PS-PS5使用時)
最大外形寸法 (mm)	232 x 138 x 40
質量	620g (電池含まず)

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なることがあります。

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:30～12:00/13:00～17:00 です。

タスカム営業技術 〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3
電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～
17:40 です。

修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3
<http://www.teac.co.jp/tascam/>

住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China